

# いしや先生

町おこし映画顛末記

あべ美佳

⑤

だ。我々が東京でできることはなんだらう、どこに、どの順番で、どうアプロ

2013年4月末、東京常の映画製作ではなかなかにて作戦会議が開かれた。こういった面子は集まらな場所を提供してください。映画製作のプロたちは西川町まちづくり応援団の元会長さん。都内某所にあるオフィスマンションに、8人ぎゅぎゅつと集まった山形大好きな都会の女に、いやあ、これが本当に助かる！東京は打ち合わせないのにもお金が飛んでいく。喫茶店で珈琲一杯500円、ゆっくり話ができるスペースを……と思えば1杯千円もする。そもそも、こんな大人数がまとまって入れる場所なんてそうそう無いのだ。今までは打ち合わせひとつにしても大変だった。田舎じゃ想像できねよにゃあ。

## 得意分野、アイデア重ね

「画」をつくらうとしていると、これはこういうことをいうのだよなあ……。

こと自体が面白い！このだと、私はひたすら感激し

場がそのままハートフルコメディーになると、私は一人でにやにやしていた。

さす。さすが「町おこし映画」だと、集まったメンバーを見まわして思う。通



に参加してもらいたい。もったいないですもん、ほんと「何をもちって成功とするんでしょう」という話をした。例えば、お金が集まらず映画ができなかつたら失敗なのか。その答えは見えてきている。ヒントは、町おこしは人間おこし。んだべ？

最後に、それまで静かに見守っていたまちづくり応援団の元会長さんから、ご提案があった。「6月9日に、まちづくり応援団の東京総会があるから参加してみないか」とのこと。そこでプロジェクトのプレゼンテーションができたなら、さらなる広がりが期待できる。私は二つ返事で「いきます！」と言った。だが、その総会にて、私は非常に厳しい現実を突きつけられることになる。それはまた、次の回で。

東京部会での主な議題はやはり資金集めである。地の若い人を入れたいなあ、どれほど刺激を受けるだろ

うか、これこそが町おこし

11月1回掲載します